

Kőszeg

クーセグ/ケーセグ



1328

基本データ

ハンガリーの首都であるブダペストから西に車で約3時間やオーストリアにオーストリア国境近くに位置するクーセグという美しい街は「ハンガリーの小さな宝石箱」とも称されている。

地方 西ツランスダヌービア (Nyugat-Dunántúl)

県 Vas

ディストリクト (2013 から) Kőszegi

郵便番号 9730

電話接頭 94

人口 12 055 人 (2012 年 1 月 1 日現在)

人口密度 219,90 人/km²

面積 54,66 km²

歴史

ハンガリーの首都であるブダペストから西に車で約 3 時間やオーストリア国境近くに位置するクーセグという美しい街は「ハンガリーの小さな宝石箱」とも称されている。

豊かな歴史によって、ハンガリーとオーストリアに主要な役割を果たした。

クーセグという名前はアールパード時代の城からつけられた。その城の遺跡はまだオーハーズ見張り台(Óház kilátó)に見ることができる。

クーセグは 1274 年に、当時の領主クーセギ・ヘンリック(Kőszegi Henrik)殿様によって建設された。

1291 年にはアルベルト 1 世(神聖ローマ帝国の王)のものとなったが、しかし、数年後アンドラーシュ 3 世に取り戻された。

アンジュー家のカーロイ・ローベルトはクーセグ家から都市を取り上げ、1328 年にワシュ県(Vas megye)において初めて「王室の都市」の称号を与えた。そして 1648 年には「王室の自由都市」という権利が与えられた。

砦の壁は 14 世紀から 15 世紀かけて建てられた。

都市の紋章が 1445 年に神聖ローマ帝国のフリードリヒ 3 世によって与えられた。

都市の最も有名な出来事は 1532 年に起こったオスマン帝国軍による攻城である。

この年にユリシツチュ・ミクローシュがオスマン帝国兵士からこの砦を守った。結果、ウィーンも守ることとなった。その勝利を記念して、クーセグでは毎年「Félhold-Telihold」という攻城戦ゲームが開催される。

包囲の後、フェルディナント 1 世は特別な権利を得た。

都市も再建築され、現在の形となった。

次の 2 世紀で都市は繁栄し始め、多くのルネサンス式の建物が建築された。



1648 年にハンガリー王国に戻った。

ラーコーツィの独立戦争の際（1703 年～1711 年）、市はかなりの創傷を受けた。

第一次世界大戦の結果、ハンガリーの国境が変わり、クーセグは国境の町となった。

第二次世界大戦の間、短期間であるが(1945 年 3 月 18 日～27 日)聖イシュトヴァーンの王冠がカールワ～リア通りの下にあるアイスワインセラーに置かれた。

クーセグの名人



男爵ニコラ・ユリシッチュ(ハンガリー語：Jurisics Miklós, ダルマチア出身、1490 年 – 1544 年 1 月 30 日) はクロアチア人の大地主・軍師であった。

1532 年にウィーンを落とすために進行する約 13 万のオットマン帝国兵士に対し Kőszeg 砦で鉄砲や大砲などを使用せずに約 800 人の干城で塞き止めた。

1538 年にハプスブルク家の当主、オーストリア大公であるカール 5 世は感謝の気持ちを表すためユ

リシッチュを最高軍司令官に任命した。

ローラント・ジュラ(Lóránt Gyula)は 1950 年代にマジック・マジャールの異名で呼ばれたサッカーハンガリー代表チームの守備的 MF や DF としてプレーをしたサッカー選手であった。

1952 年にオリンピックで優勝し、1953 年には中央ヨーロッパ国際カップも獲得し、ハンガリーのリーグで 4 回、ルーマニアやギリシャのリーグで 1 回勝利した。



キッシュ・ヤーノシュ中将(ハンガリー語：Kiss János、1883 年 3 月 24 日
1944 年 12 月 8 日)はハンガリー蜂起国民解放委員会の軍師だった。

観光地

幸いなことに、クーセグのモニュメントは戦火を生き延びた。現在はヴァシュ
県で最も人気のある観光地となっている。街は中世の雰囲気溢れる。
クーセグは小さな街なので、ざっと見ると半日で全てを見る事ができるが、一番美
しいのは夜だから、できれば 1 泊を過ごすことを薦める。

旧市街

かつての町の中心や市場は現在、行政の中心地になった。ユリシツチュ広場、
薬局博物館、英雄の門、市庁舎、イエス聖心教会、聖ヤコブ教会、聖エメリッ
ク教会などがある。

イエス聖心教会

旧市街で最も大きな建物である。教会は 1892 年～
1894 年にウィーンのルートヴィヒ・ショーネ建築
家によってゴシック・リヴァイヴァル様式で建築
された。建築中、多くのステンドグラスが地元の
家族に寄贈された。教会の高塔は 57 メートルであ
る。教会の中には 3 つの身廊があって、多角形の
聖具室がある。いくつかの中世とバロック家具も
ある。オルガンがリーガー兄弟によって 1894 年に



作られた。

鐘はヘンデルのサウルのオラトリオを奏でいる。



ユリシツチュ城

この城は 1532 年に起こったオスマン帝国軍による攻城の舞台であった。現在砦と要塞しか残っていない。城は 1693 年に焼き払われた。現在城の内部は博物館として公開されて、クーセグ街の資料が出展されている。「Félhold-Telihold」という攻城戦ゲーム、夏の城劇場、収穫祭、オルショヤ日の祭り（ハンガリーの伝統的の mézeskalács というジンジャーブレッドお勧める）など様々の年中行事も行われている。



英雄の門 (Hősök kapuja)

元々この場所には最重要な守衛詰所あったが、1860 年に取り壊された。1932 年に、オスマン帝国による包囲の 400 年の記念にオパテルニ・フローリスの設計によって折衷主義様式で 27 メートル高の新しい塔が建てられ、町の象徴になった。1977 年からは博物館となり、最上階にある展望台から都市の景色に眺めることができる。塔の下にあるトンネルに包囲や第一世界大戦の記念史跡がある。



薬局博物館

イエズス会の薬局の器具が展示されている。



Félhold Telihold
 攻城戦ゲーム



オルシヨヤ日

中心の地図（観光地）



レストラン情報

Bécsikapu Étterem

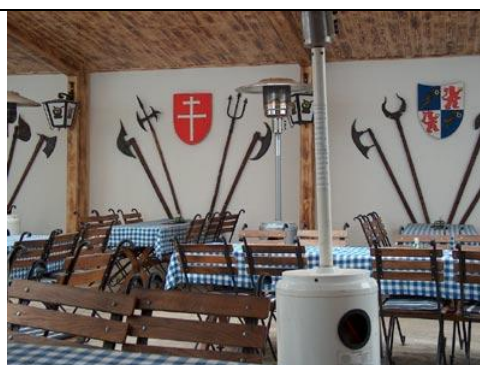
ベーチカプ・エーッテレム

Kőszeg, Rajnis u. 5.

公式サイト : <http://www.becsikapu.hu/>

町の中心にある中世の雰囲気溢れる
レストランである。
値段はあまり高くなさそうだ。





Hotel Írottkö (ホテル・イーロットコー)のレストラン

4つ星のホテルのレストランである。それに対応して値段が高いが、公式サイトにある写真に判断して、美味しそうである。



公式サイト：

<http://www.hotelirottko.hu/>

住所：9730 Kőszeg, Fő tér 4.

電話番号 +36-94-360-373

メール info@irottko.hu

Kék Huszár Vendéglő (ケーキ・フサル・ヴェンデーグロー)

安く、ハンガリーの伝統的な料理を作るレストランである。

住所：9730 Kőszeg, Várkör 60-62

電話番号：+36 / 94 360 - 850

メール：info@kekhuszar.hu



Kóbor Macska Fogadó (コーボる・マチュカ・フォガドー)

宿泊に泊める。

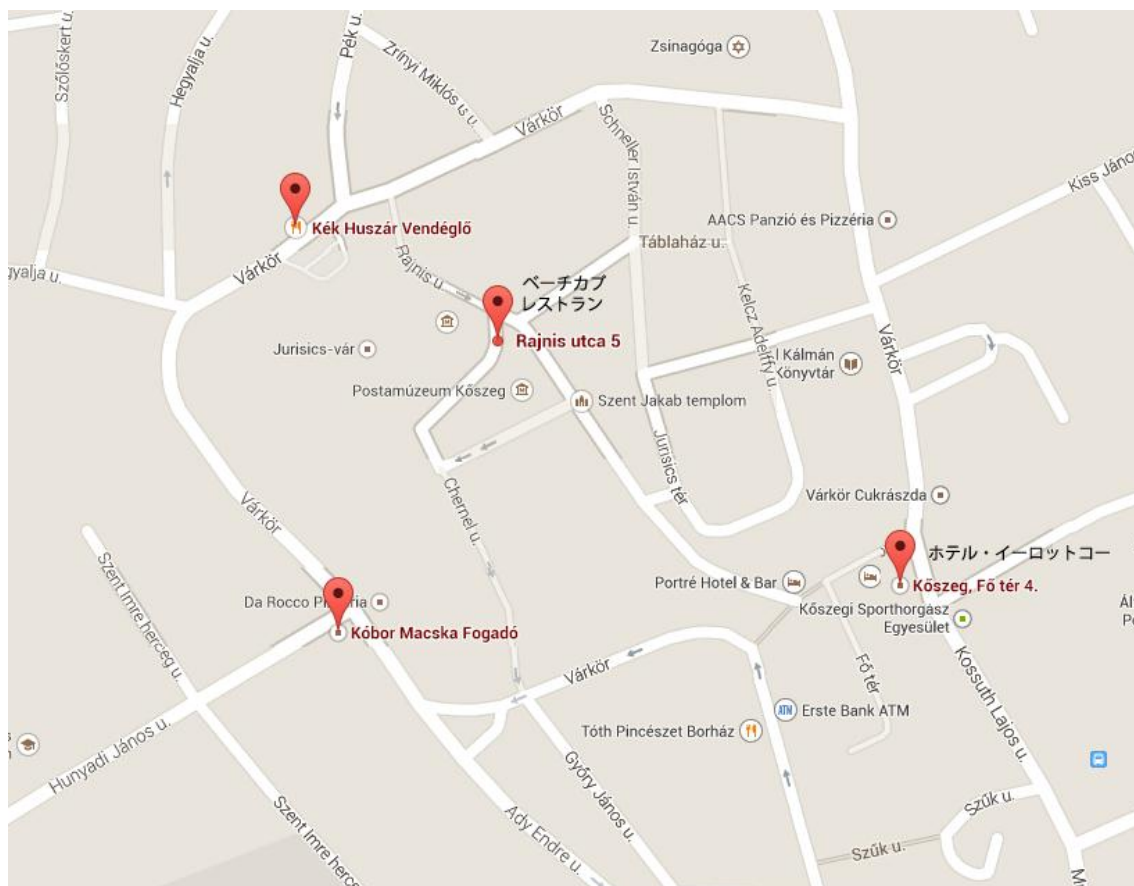
公式サイト：

<http://www.kobormacska.hu/>

住所：9730 Kőszeg Várkör utca 100

電話番号：(0036) 94/362-273

メール info@kobormacska.hu



宿泊、ホテル情報



公式サイト：

<http://www.hotelirottko.hu/>

住所：9730 Kőszeg, Fő tér 4.

電話番号 +36-94-360-373

メール info@irottko.hu

Hotel Írottkő ホテル・イーロットコー

4つ星のホテルは旧市街の中心にあるばかりに、ウエルネス、レストラン様々旅行もあるので、結構高い。





ユリシツチュ・ミクローシュ寮

サイトによると寮は性別に分けられている。

男性（大人）：2350Ft/一泊

女性（大人）：2150Ft/一泊

電話番号：(94) 361-404

メール：jmg-gazdasagi@freemail.hu



Andalgó Hold Vendégház - アンダルゴー・ホルド・ヴェンデーグハーズ

町の中心にある宿泊。台所、居間、マイクローウィーブ、冷蔵庫はもちろん、テレビもある。



住所：Kőszeg、Rákóczi út 22.

電話番号：06 20 35 65 971



Mohás vendégház モハーシュ・ヴェンデーグハーズ



公式サイト：

http://www.mohasvendeghaz.hu/ 住所: 9730 Kőszeg, Mohás út 83. 電話.: (00-36) 94-364-621 携帯: (00-36) 30/9279-035 E-mail: メール info@mohasvendeghaz.hu 値段: 4500ft/人/一泊. 5000ft/人/一泊. 朝食: 1300Ft/人	
---	--

町の中心から 2 k mにあるが、自然的な雰囲気が溢れる。山に近く、小川、巨大な公園、サウナ、ワイン貯蔵室もある。四季によって様々な野外活動をすることができる。夏はハイキング、冬ならスキーを楽しむ。